

京都市長コメント (新型コロナウイルスワクチンの供給について)

本市では、市内900を超える診療所・病院、京都府医師会、京都私立病院協会等の御協力の下、国の方針や、市民の皆様の御要望に応えるため、身近な診療所・病院等による個別接種の体制や、本市設置の集団接種会場を充実してきました。大都市でありながら、全国を上回る接種率で65歳以上の高齢者の接種は順調に進んでおり、7月末を待たずに完了する見込みです。(集団接種の希望登録者、約6万5千人の方全員に御連絡し、重複等を除く全ての方の接種又は予約を終えています。)

更に、6月16日から基礎疾患を有する方の接種を開始し、保育職員や教職員、介護サービス従事者等のエッセンシャルワーカー(早期接種対象者)など、64歳以下の方の接種を前倒しして進めています。

これまでの、医療関係者の皆様、力添えいただいた関係の皆様、接種いただいた皆様に、改めて、感謝申し上げます。

しかし一方で、本市の接種体制の拡充、加速化に、国からのワクチン供給が当面对応できておらず、必要量を確保できない厳しい状況になっています。

7月1日に国から示された配分計画では、大幅な供給減少が明らかであり、京都市のみならず、全国の自治体がワクチン接種を制限しなければならない状況に置かれています。

この危機的な状況を乗り越えるため、国に対し必要な量のワクチン供給を強く要望するとともに、2回目接種、高齢者の接種を確実に実施していくため、7月12日(月)から7月31日(土)までの間、全ての医療機関、集団接種会場で、65歳以上の高齢者を除き、新規、1回目接種者の予約の受付を行わないこととします。

ワクチン接種に協力いただく医療機関の皆様、早期接種を希望される市民の皆様、多くの皆様に御迷惑をおかけすることになりますが、今は、ワクチンの供給量に合わせ、接種スピードをペースダウンしなければなりませんので、何卒、御協力をお願いします。

一方、国全体において、市民の皆様が必要とするワクチンを確保されており、京都市内では、個別接種、集団接種会場のどちらも、十分な体制を整えています。今後、ワクチンの供給状況に合わせ、接種の予約を御案内できるようになるので、御安心ください。

最後に、来週はじめにも、国から示される本市への配分量を踏まえ、早急に、本市における個別接種、集団接種の今後の方針を取りまとめ、改めて発表させていただきます。

令和3年7月3日
京都市長 門川 大作
保健福祉局医療衛生推進室
(075-222-3423)